



20th

おかげさまで
合併20周年

令和元年8月版 きらり特集号

豊かな農業、地域、食を。 あなたと一緒に これからも作っていく！

- 農業振興・地域活性化プラン取組結果発表！
- NEXT JA! ~JA香川県の次なる目標に向けて~



JA香川県

目次

1 ご挨拶

2 農業振興プランの取り組み結果

未来につなぐ農業にするために豊かさを広げる

4 地域活性化プランの取り組み結果

元気な明日をつくるために絆を深める

6 3か年の結果まとめ

前進!豊かな農業!元気な地域!!

8 生産者の声

「改革の手応え」を感じています。

NEXT JA! JA香川県の次なる目標に向けて

10 農業振興アクションプログラム

3年間で確実に豊かさを広げる

14 地域活性化アクションプログラム

地域の元気を実感するために

16 重点プログラムの紹介

目標達成の確かな道

19 重点助成事業の紹介

役立つJAを実感

● 主な問い合わせ先



協同組合が「無形文化遺産」に登録されました!

平成28年11月に、協同組合がユネスコの「無形文化遺産」に登録されました。無形文化遺産には次世代に残すべき貴重な文化が登録されており、国内でも「能楽」、「人形浄瑠璃」、「歌舞伎」等が登録されています。

ご挨拶



組合員・地域の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、当組合の事業運営に対し格別のご理解とご協力を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、政府の定めた農協改革集中推進期間が本年5月末でひとつの区切りを迎えました。その間、JAグループは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に自己改革を進めてまいりました。当組合でも、平成28年度から「農業振興・地域活性化プラン」を策定し、3か年の具体的な目標を掲げJA自己改革に取り組んでまいりました。

政府の定めた農協改革集中推進期間は終了しましたが、「農業者の所得増大」や「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組むことは、われわれの本来の使命であり、令和元年度以降も引き続き、JA自己改革に取り組むこととしています。このため、令和3年度末を目標とする新たな「農業振興・地域活性化アクションプログラム」を策定いたしました。この取り組みを通して、組合員・地域の皆さまに必要なとされる組織であり続けるために農業と地域に全力投球してまいります。

今年度は平成から令和へと新しい時代を迎え、また、当組合は合併20周年を迎える節目の年度となります。

今後も、「食」と「農」を核に、人を大切にする協同組合組織として、組合員・地域の皆さまの「心に響く」総合事業サービスを提供してまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。



経営管理委員会会長

港 義弘



代表理事理事長

木内 秀一



未来につなぐ農業にするために豊かさを広げる

成果目標

農業者の
所得増大
・
農業生産
の拡大

〈目標〉

販売品取扱高
1,000万円超生産者
700名

野菜4品目作付面積
2,140ha

ブロッコリー	1,000ha
レタス	800ha
青ネギ	234ha
タマネギ	106ha

〈平成30年度実績〉

販売品取扱高
1,000万円超生産者
552名

野菜4品目作付面積
2,147.4ha

ブロッコリー	1,171.6ha
レタス	686.6ha
青ネギ	184.9ha
タマネギ	104.3ha

戦略	戦術	具体的な施策
販売品取扱高増加	農産物自体の 単価アップ	1.機能性等表示食品・地理的表示保護制度を活用した商品づくり
		2.オリーブ牛の販売数量拡大
		3.おいでまい倉前集荷の1等格付に対する食味分析 および良食味米の区分によるブランド力向上
	付加価値による 単価アップ	4.米の播種前複数年契約および買取販売の実施
		5.量販店等への野菜・果樹の直接的販売拡大
	1チャンネル当たりの 数量の増加	6.重点パートナー市場との連携による量販店等への販売強化
		7.販売ルートを明確にした契約的取引強化
		8.ポイントサービス導入による産直店舗の売上拡大
	販売チャンネルの増加	9.ファーマーズマーケット2号店の設置
生産量拡大	耕作面積の維持、拡大	10.苗供給体制の確立
		11.フィールド支援の整備・拡充
	収穫回数の増加	12.荷造り調整支援の拡充
生産出荷コスト削減	単価の低下	13.循環型コンテナ等の導入推進による出荷コストの削減 (出荷経費20%減)
		14.銘柄集約・仕入強化による供給価格(仕入価格)の引き下げ
		15.肥料満車直行便の拡充
担い手の個別対応・担い手の確保	営農経済事業への 資源投入	16.担い手サポートチームによる定期巡回と事業・ 経営支援策提案(H29.9現在対象経営体1,105先)
		17.JGAP等認証に向けた取組開始
		18.農業インターン制度を活用した新規就農者の確保
		19.定年退職者等を対象にした農業者の裾野拡大
		20.就農奨学金制度の創設
		21.活用しやすい農業資金の創設と機動的な農業融資の実施
		22.農業振興にかかる積極的な投資

みなさまのご協力で
多くの目標が達成
できました!!



目標は農業者の所得増大・農業生産の拡大

業績評価指標(KPI)	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	H30年度 目標値	進捗評価
機能性等・地理的表示商品の 開発・登録	—	機能性表示:1品目	地理的表示:1品目	善通寺産四角スйка 申請中:正式公示	3品目	未達成
オリーブ牛年間販売頭数	1,547頭	1,591頭	1,401頭	1,557頭	1,700頭	未達成
おいでまい(特A取得) 1等比率 作付面積	74% 1,250ha	おいでまい(特A取得) 65% 1,290ha	A 77% 1,190ha	A 74.0% 1,820ha	おいでまい(特A取得) 90%以上 2,700ha	未達成
販売数量	150t	205t	942t	2,094t	2,000t	達成
直販事業取扱高	1,398百万円	1,496百万円	1,700百万円	1,659百万円	1,550百万円	達成
取引額	5,582百万円	5,325百万円	6,236百万円	6,098百万円	5,780百万円	達成
契約的取引額	3,514百万円	3,797百万円	3,608百万円	4,295百万円	3,700百万円	達成
ポイントサービス導入 13店舗における売上高	—	3,026百万円	2,946百万円	2,806百万円	3,117百万円	未達成
ファーマーズマーケット 2号店開店	—	高松地区で検討中	新たな新店候補地の 調査・選定	平成31年度末に リニューアル予定	FM2号店の開店 (年間売上高5億円以上)	未達成
ブロッコリー苗供給数量 (ブロッコリー作付面積)	—	230,736枚 (900ha)	243,773枚 (1015.7ha)	250,820 (1,045ha)	250,000枚 (1,000ha)	達成
フィールド支援作業員数	—	24名	—	29名	34名	未達成
野菜フィールド支援面積 (ブロッコリー、レタス、青ネギ、タマネギ)	374ha	443.3ha	426.4ha	428.3ha	487ha	未達成
野菜荷造り調整支援 (ブロッコリー、レタス、青ネギ、タマネギ)	11,940t	11,933.3t	12,941.3t	14,398.2t	13,800t	達成
コンテナ出荷品目(ブロッコリー、 レタス、青ネギ、タマネギ、ミカン、 イチゴ、キュウリ、ミニトマト、 中晩柑類、キウイ類)	5品目 (ブロッコリー、 レタス、タマネギ、 ミカン、イチゴ)	新規4品目 キュウリ・ミニトマト・中晩柑類 (レモン・西南のひかり)・ キウイ類(さめきゴールド)	新規3品目 (青ネギ、大蒜、 小原紅早生)	14品目 新規2品目枝豆、 スイートコーンを 含む	10品目	達成
肥料供給価格引き下げ額	—	166百万円	170百万円	164百万円	150百万円 (供給価格5%減)	達成
満車直行使数	75車	105車	148車	168車	115車	達成
所得増大等に向けた事業・ 経営支援策提案数	—	—	184件 (30年度作付計画)	243件	178件	達成
JGAP等の取組みを開始する モデル経営体数(GAP指導員)	—	—	— (25名)	13経営体 (33名)	7経営体 (25名)	達成
農業インターン新規就農者数 (当初からの就農者数累計)	— (89名)	8名 (97名)	5名 (102名)	6名 (108名)	3年間で18名 (107名)	達成
農業経営にかかわる 研修受講後の就農者数	—	— (平成29年度から事業実施)	5名	6名 (累計11名)	3年間で35名	未達成
奨学金受給者数	—	— (平成29年度から事業実施)	1名	7名 (累計8名)	20名	未達成
農業融資新規実行額	7.5億円	8.7億円 (サンライズ169百万円)	11.9億円 (サンライズ246百万円)	18.0億円 (サンライズ293百万円)	20億円	未達成
目的積立金取崩額等 営農振興対策事業 農業所得増大・地域活性化 応援プログラム	(5億円造成) (1.5億円) —	1.3億円(取崩9千万円) 1.1億円 61百万円 (累計)	3.8億円(取崩額3.4億円) 2.3億円 1.1億円 (累計)	6.7億円(取崩額6.2億円) 3.5億円 1.9億円 (累計)	4.8億円+1.7億円 4.5億円 2億円 (3年間の総額)	達成

※未達成の項目についても継続して取り組みます。

元気な明日をつくるために絆を深める

目標は地域の

戦略	戦術	具体的な施策
組合員のメンバーシップ強化	組織基盤を強化するため、組合員の加入促進を実施	1.60歳未満の新規組合員加入促進
		2.利用者情報を活用した女性正組合員加入促進
	女性部・青壮年部の行う組織活動や地域貢献活動との連携	3.青壮年部活動の活性化と活動を通じた盟友や組合員の増加
		4.女性部(フレミズ含む)活動の活性化と活動を通じた部員数・組合員数の増加
	准組合員との関係強化	5.正・准組合員等の意向調査に基づくニーズ把握と対応策の検討
		6.准組合員との意見交換会・利用者懇談会等の開催による繋がり強化
地域コミュニティの活性化	支店協同活動の展開	7.女性部、青壮年部、支店運営委員等の参画を得た各種イベントの開催による地域コミュニティの支援
	商工会等と連携した地域活性化	8.行政や商工会、NPO等と連携した活動による地域のにぎわい創設
	高齢者にやさしい組織づくり	9.支店協同活動での取り組みや、助け合い組織の活動を支援し、地元コミュニティ(見守り隊等)と連携するなど、見守り活動の実施
		10.認知症サポーターの養成
農業・協同組合活動への理解促進	農業とふれあう場の提供	11.営農部と連携した新たな市民農園(体験型市民農園)設置に向けた仕組みづくり
		12.学童向けの農業体験学習の実施、食農教育「あぐりスクール」の継続実施 食農教育を通じてJAキッズメンバーズの創設
	協同組合理念の教育と情報発信	13.新規加入組合員への協同組合の理解促進のためのパンフレット作成と配布
		14.既存組合員の協同組合理念理解促進のためのきらりへのコラム掲載
		15.協同組合運動を体現するための役職員に対する研修

成果目標

地域の
活性化

みなさまと一緒に
大きな目標に向かって
進むことができました!



活性化

業績評価指標 (KPI)	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	H30年度 目標値	進捗評価
新規加入数	2,275名	3,255名	3,310名 (6,565名)	2,708名 (9,273名)	1,000名 (6,000名)	達成
正組合員 女性比率	20.8%	21.4%	22.3%	23.0%	23.0%	達成
盟友増加数 (累計)	—	16名 (新規加入者数)	20名 (新規加入者数)	32名 (新規加入者数)	20名 (60名)	達成
女性部部員の 組合員加入 (准→正の資格変更を 含む)(累計)	—	254名	300名	192名	200名 (100支部×2名) (400名)	達成
調査の実施	—	2月22日発送し 3月15日提出期限、 中央会報告後 4月6日にデータ受領	調査の実施	—	調査の実施 (2年後の意識)	達成
開催回数	—	18回 (1統括支店1回)	18回 (1統括支店1回)	18回	18回 (1統括支店 1回以上)	達成
実施回数	73回	1,036回	1,468回	1,497回	339回 (113店舗×3回)	達成
連携活動回数	—	23回	33回	33回	36回	未達成
見守り活動の 取り組み件数	20件	39件 (活動組織数)	33件 (活動組織数)	35件 (活動組織数)	35件	達成
サポーター 養成研修 参加者数	258名	476名	270名	245名	200名 (600名)	達成
新たな 市民農園の 設置	—	既存農園の あり方検討と 体験型農園の研究	体験農園の あり方検討と 候補地選定	1か所設置	1か所設置	達成
JAキッズ メンバーズの 創設	—	あぐりスクール参加者、 JA感謝祭に來場した 子供を対象にアンケート 調査を実施し、課内で キッズメンバーズ創設の ための仕組を検討	創設	創設	創設	達成
配布数	—	14,794名 うち 新規加入案内時:2,794名 イベント等:12,000名	新規加入 案内時:6,504名	新規加入時: 4,933名 JA感謝祭配付: 12,300名	6,000名	達成
掲載数	—	2回	10回	—	— (12回)	達成
実数回数	—	2回	8回	8回	2回以上	達成

※未達成の項目についても継続して取り組みます。

3か年の結果まとめ

前進! 豊かな農業! 元気な地域!!

どんなことをしたの?

Q1

出荷物の単価を
上げるために
何をやったの?



JAではこんなことをし

販売品取扱高増加

**米の播種前複数年契約や買取販売で
単価アップ**

取引先と事前契約について協議を続け、過去の平均精算価格よりも高い価格で契約を締結しました。

直接的販売を拡大しました

市場外流通において、直接商談することにより、出荷形態、売れ筋商品の情報確保等により、中間コストの削減だけでなく、販売単価もアップしました。

**重点パートナー市場との販売を
強化しました**

重点パートナー市場との連携により、量販店への系列化を図り価格形成において優位に交渉できるよう取り組みました。

Q2

農地を拡大
したいんだけど?



生産量の
拡大

荷造り調整支援を拡充しました

荷造り調整を支援することで、それに掛かっていた時間を別の作業や栽培管理に専念できることから、生産拡大、品質向上が図られました。

Q3

生産資材コストは
安くなったの?



生産出荷
コストの削減

肥料の仕入れ価格の引下げをしました

原料価格や他の要因の影響で値上げの情勢の中、銘柄集約や仕入れ強化に取り組みました。

Q4

今後、農業をしていく
人がいるのか心配?



担い手の
確保

農業インターン制度を推進しました

就農に向けて、インターン生の受入先となる農家を訪問し、相談しました。また、農業インターン生との意見交換を実施しました。その結果、農業に意欲のあるインターン生を送り出すことができました。

Q5

地域を活性化する
取り組みとは?



組合員の
メンバーシップ
強化

支店協同活動を展開しました

60歳未満の新規組合員加入促進に取り組んだ結果、3か年での累計数は9,273名(正1,281名、准7,992名)になりました。また、正組合員女性比率の向上に取り組み、概ね23%の目標を達成しました。青壮年部活動では、地域イベントに参加し、新規加入盟友の増加に取り組みました。准組合員との交流会を18統括店で開催し、参加された方にとても好評でした。

3年間の取り組みにおいて
多くの目標値を上回る
ことができました。



農業者の所得増大&農業生産の拡大!

ました



平成30年度はこうなりました

目標値(2,000t)を上回る**2,094tで達成**。
3か年で**1,944t、約14倍に増加**しました。

目標値(1,550百万円)を上回る**1,659百万円で達成**。
3か年で**261百万円増加**しました。

目標値(5,780百万円)を上回る**6,098百万円で達成**。
3か年で**516百万円増加**しました。

目標値(13,800t)を上回る**14,398.2tで目標達成**。
3か年で**2,458.2t増加**しました。

目標値(150百万円の引き下げ)を上回る
164百万円の引き下げで目標達成。
原料情勢が厳しい中、達成することができました。

目標値(インターン生:3年間で18名)を上回る
3年間で19名が新規就農し達成。
これで累計108名のインターン生が就農しました。

新規加入数、正組合員の女性比率など、
いずれも目標値を達成!

3
か
年
の
結
果
ま
と
め

生産者の声

「改革の手応え」を感じています。

JA香川県では、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指し、さまざまな支援活動を行っています。

新規就農の新人さんからキャリアのある認定農業者の方まで、JAの存在をどのように受け止め、役立てているのか、生の声をご紹介します。

みなさまの喜びの声が
新たな取り組みへの
エネルギーと
なっています！

荒井 悠貴さま
(33歳)
東かがわ市
小砂



栽培現場でも経営面でも、
JAさんの**速やかなサポート**は
頼りになります。

JAのサポートで農業の道に 踏み出すことができました

自分の手で一から育てて行く農業がやりたいと、JA香川県平成29年度農業インターン生となりました。すでに妻も子もあり実家は非農家でしたので、支援がなければ実現はかなわなかったでしょう。JA香川県の臨時職員という待遇で、実際のほ場でネギの栽培を一から教えてもらいました。修了後はJAをはじめ国の助成制度も活用し、独立して農業を始めました。その後も、皮むき洗浄機の買い換えにJAの助成事業を利用するなど、さまざまな場面で助けられています。

青ねぎ部会に所属していますが、仲間ができることは経験の少ない新規就農者にとってはありがたいことです。今後もJAや先輩のアドバイスを参考に、経営規模を着実に拡大したいと考えています。



プロフィール

独立して就農2年目。コシヒカリ約50a、ブロッコリー約20a、青ネギ約70a

森田 新吾さま

(40歳)

善通寺市
弘田町



経営や経済面での相談にも
細かく対応してくれるので
助かっています。

新たな取り組みにも役立つ 組織力の利点を実感しています

静岡県でサラリーマンをしていましたが将来性に疑問を感じ、農業関係の求人を見つけて香川県にやってきました。一から農業を始めた者にとって、販売先を確保してくれるJAの存在はなくてはならないものです。入金まで責任を持ってくれるJAの存在は大きいですよ。

種子助成にはじまり、収穫したニンニクの4割は荷造り調整支援を利用。出荷までの手間がかかる作業はJAが引き受けてくれます。機械の貸出制度も大変助かっています。

新たにトウモロコシの栽培を始めましたが、不安なことをすぐ相談できる営農指導はありがたいですね。JAのアドバイスや青壮年部の情報交換を糧に、どのような条件下でも安定して良いものを収穫できる本物の農家を目指しています。



プロフィール

独立して就農8年目。ニンニク約100a、ブロッコリー約150a、トウモロコシ約40a

藤井 英一さま

(74歳)

観音寺市
新田町



育苗センターで**良い苗**を立ててもらえることが、**質の良いブロッコリー**の出荷につながります。

JA香川県と共に 「秋冬作産地日本一」を目指します

57歳の時に退職し専業農家となりました。試行錯誤の時期を経て現在はブロッコリーの栽培に力を入れ、苗から出荷までJAの支援を受けています。収穫後の検査も荷造りもJAにお任せしていますが、全くの第三者が検査をしてくれることで、信用度も品質も上がりました。

ブロッコリー部会の部会長を拝命。市場との懇談会や量販店の見学など農家単体ではかなわない交流を通じて、よりニーズに合ったブロッコリーを部会で情報共有し学び合っています。出張中はJAの支援にも頼っています。

JAの支援により、栽培管理に力を注ぐことができて面積も生産高も、収益も順調に増えましたので、今年度は秋冬ブロッコリーの作付面積日本一を目指しています。



プロフィール

専業農家になって17年、現在はJA香川県ブロッコリー部会長。ブロッコリー約200a、コシヒカリ約35a

農業振興アクションプログラム **3年間**で確実に豊かさを広げ

成果目標

農業者の
所得増大
・
農業生産
の拡大

〈目標〉
販売品取扱高
(産直売上高含む)
200万円超生産者
(内800万円超生産者)

3,300名
(830名)

野菜10品目
作付面積
2,600ha

青ネギ
アスパラガス
ブロッコリー
レタス
ナバナ
キュウリ
ミニトマト
タマネギ
ニンニク
イチゴ

〈平成30年度実績〉
販売品取扱高
(産直売上高含む)
200万円超生産者
(内800万円超生産者)

3,248名
(810名)

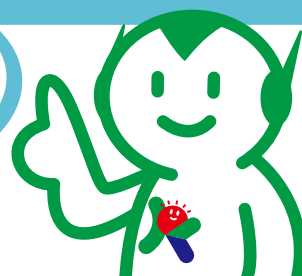
野菜10品目 作付面積
2,488.4ha

販売力を強化します。

生産・出荷コストを引き下げます。

	具体的な施策	業績評価指標 (KPI)
販売力を強化します。	1.実需者との複数年契約による安定した米販売価格の確保	米の播種前複数年契約数量・金額
	2.実需者・消費者への園芸作物の直接販売による所得増大	園芸作物の直接販売事業取扱高 園芸作物の直接販売事業取扱率
	3.主要野菜10品目の平均単価向上による所得増大	主要野菜10品目(青ネギ、アスパラガス、ブロッコリー、レタス、ナバナ、キュウリ、ミニトマト、タマネギ、ニンニク、イチゴ)の主要中央卸売市場における平均単価より5%以上高い品目数
	4.オリーブ牛の有利販売による所得増大	和牛平均単価(kg当り)に対するオリーブ牛平均単価(kg当り)
	5.産直等の売上拡大による所得増大	ファーマーズマーケット・産地直売所の売上高
	6.GAP指導員によるGAPに取り組む経営体の支援	認証経営体数
生産・出荷コストを引き下げます。	7.高度化成肥料の一括集中購買による肥料価格の低減、市況に負けない肥料価格の設定	高度化成肥料(オール14・16)等の市況価格対比5%安 ※肥料価格改定月(12月)における価格 市況調査基準月:10~11月
	8.肥料満車直行便の推進による肥料価格の低減	肥料満車直行便数
	9.市況に負けない農薬価格の設定による生産コストの低減	同等品が存在する農薬のうちJA取扱量上位50品目のうち市況よりも安い品目数 ※農薬価格改定月(1月)における価格 市況調査基準月:10~11月
	10.農薬の大型規格化による価格メリットの実現	取扱アイテム数
	11.規格の見直し等による出荷資材コストの低減	低価格段ボールの販売 従来規格からの値下げ率
	12.低コスト農機の普及	推奨機種等(トラクタ)の販売台数
	13.ドローン防除の拡大による労力負担の軽減	ドローン防除作業面積

みなさまと一緒に、3年間で
さらなる豊かな農業を
目指します。



る

概要	H30年度 実績	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値
播種前に複数年の販売量を事前に決定し確実な販売先・販売額を確保することで、米生産者の所得の安定化に貢献します。	2,094t (—)	5,000t 10億円	7,000t 14億円	10,000t 20億円
直接販売することで、JA自身で販売価格を決定し、有利販売につなげ、また、市場を介さないことで中間手数料を削減し生産者所得の増大に貢献します。	16.6億円 (7.8%)	18億円 (7.6%)	19億円 (8.0%)	20億円 (8.4%)
契約的取引やブランド化により主要野菜10品目を有利販売し、主要中央卸売市場の平均単価よりも高い販売を行い、生産者所得の増大に貢献します。	—	平均単価対比 5%アップ (10品目/10品目)	平均単価対比 5%アップ (10品目/10品目)	平均単価対比 5%アップ (10品目/10品目)
県内外から評価が高まっているオリーブ牛を有利販売することで、生産農家の所得増大に貢献します。	単価差+118円/kg 3等級以上の枝肉(去勢) 加重平均単価 オリーブ牛 2,547円(坂出市場) 黒毛和牛 2,429円(大阪市場)	単価差 +130円/kg	単価差 +160円/kg	単価差 +200円/kg
ポイント制度やイベント開催によりファーマーズマーケットや産地直売所の売上を拡大し、多様な担い手を中心とした産直出品者の所得増大に貢献します。	40.3億円 (661千円/人)	41億円 (666千円/人)	43億円 (693千円/人)	43.5億円 (701千円/人)
消費者などから注目の集まっているGAPへの取り組みを支援することで、農業経営の効率化などに貢献します。	—	3経営体	3経営体 (累計6経営体)	4経営体 (累計10経営体)

肥料メーカーから一括大量購入し高度化成をお求めやすい価格で提供することで、生産コストの低減に貢献します。	—	市況対比 平均5%安	市況対比 平均5%安	市況対比 平均5%安
肥料メーカーから生産者宅へ直送し値引きを行う「肥料満車直行便」をご利用いただくことで、生産コストの低減に貢献します。	168車	170車	175車	180車
農業の価格を決定する際に、県内同業他社の店頭価格よりも安く設定することで、生産コストの低減に貢献します。	50品目/ 50品目	50品目/ 50品目	50品目/ 50品目	50品目/ 50品目
農業を大型規格化することにより、従来規格より割安な価格設定を行うことで、生産コスト低減に貢献します。	58規格	60規格	63規格	65規格
原料価格の高騰が続く段ボールなどの規格を見直して出荷資材の価格を引き下げることで、出荷コストの低減に貢献します。	—	2規格 (2%)	2規格 (累計4規格) (2%)	2規格 (累計6規格) (2%)
機能を制限した価格メリットのある格安トラクタなどを提供しご利用いただくことで、農機の導入・更新費用の負担を軽減します。	150台	130台	150台	155台
ドローン防除を拡大することで防除作業にかかる労力負担を軽減します。	210ha	300ha	350ha	400ha

農業振興アクションプログラム **3年間**で確実に豊かさを広げ

成果目標

農業者の
所得増大
・
農業生産
の拡大

〈目標〉

販売品取扱高
(産直売上高含む)
200万円超生産者
(内800万円超生産者)

3,300名
(830名)

野菜10品目
作付面積

2,600ha

青ネギ
アスパラガス
ブロッコリー
レタス
ナバナ
キュウリ
ミニトマト
タマネギ
ニンニク
イチゴ

〈平成30年度実績〉

販売品取扱高
(産直売上高含む)
200万円超生産者
(内800万円超生産者)

3,248名
(810名)

野菜10品目 作付面積

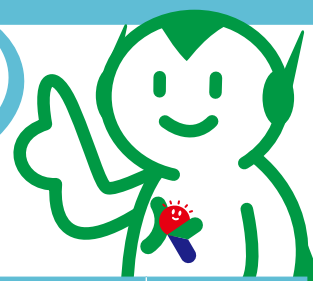
2,488.4ha

生産拡大を支援します。

農業者の多様なニーズに応えます。

	具体的な施策	業績評価指標 (KPI)
生産拡大を支援します。	14.フィールド支援の拡充による作付面積の維持拡大	支援メニュー数 支援面積
	15.荷造り調整支援の拡充による出荷作業負担の軽減	荷造り調整支援量
	16.農業インターン制度を活用した新規就農者の確保	農業インターン新規就農者数
	17.JA香川県就農奨学金を活用した将来の就農者の確保	JA香川県就農奨学金受給者数
	18.助成事業等を活用した園芸施設の拡大	新規園芸施設の面積拡大
	19.農地相談機能の強化による農地の流動化	相談会開催回数(各地区年2回以上)
農業者の多様なニーズに応えます。	20.アグリワークでの人材紹介の拡大による労働力確保	マッチング件数
	21.営農指導機能の強化による収量増加・品質向上	営農指導員数 指導員巡回件数
	22.担い手サポーターの提案活動による農業者の所得増大	経営計画提案件数
	23.生産品目に応じたスマート農業の研究	部門(農産・園芸・畜産)ごとに1テーマ
	24.新たな園芸品目の推進による産地の確立	新規推進品目数
	25.農機点検の充実による故障の未然防止	点検台数
	26.農業融資の拡充による経営規模拡大の支援	農業融資新規実行額
	27.組合員との意見交換によるニーズに即した事業の展開	認定農業者訪問回数 意見交換会開催回数・参加者数

JAは3年間でより一層、
農業の拡大につながる施策に
取り組みます。



る

概要	H30年度 実績	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値
フィールド支援のメニューを拡大するとともに作業員を充実させ、農作業にかかる負担を軽減し、規模拡大や生産の維持に貢献します。	32メニュー1,275ha うち野菜491ha、 果樹21ha 米麦等763ha	34メニュー1,300ha うち野菜510ha 果樹24ha、 米麦等766ha	36メニュー1,350ha うち野菜530ha 果樹24ha、 米麦等796ha	38メニュー1,400ha うち野菜550ha 果樹24ha、 米麦等826ha
荷造り調整支援を利用していただくことで出荷作業にかかる労力負担や時間を軽減し、規模拡大や生産の維持に貢献します。	20,954t	19,400t	19,600t	19,800t
農業インターン制度を充実させ就農に必要な技術や知識の習得を支援することで、将来の地域農業を担う生産者を育成します。	6名 (累計108名)	10名 (累計118名)	10名 (累計128名)	10名 (累計138名)
就農に向けて大学などで農業に必要な知識などの習得に励む方に対して奨学金を支給し、地域農業を担う農業者を支援します。	7名 (累計8名)	5名 (累計13名)	5名 (累計18名)	5名 (累計23名)
天候などに左右されにくい園芸施設への参入や拡大を後押しすることで、労力軽減と農業所得の安定化に貢献します。	—	3ha	3ha (累計6ha)	3ha (累計9ha)
香川県農地機構などと連携した相談会などを開催し農地に関する疑問や悩みに応えることで、スムーズな貸借などに貢献します。	—	14回	18回	21回
JA香川県無料職業紹介所(アグリワーク)の求人と求職のマッチング数を増やすことで、労働力不足の解消に貢献します。	129件	130件	135件	140件
専門性の高い指導員を養成することで、細やかな巡回を行い栽培に関する悩みや相談に応えます。	255名	258名 30,000回	268名 35,000回	278名 40,000回
農業経営支援システムを活用して個々の農家の実情に応じた経営計画を提案することで、課題解決や所得増大に貢献します。	59先	140先	150先	175先
生産品目ごとにテーマを決めてスマート農業導入に向けた研究を行うことで、省力化・新たな技術の開発・実装に取り組みます。	—	研究・実装 3テーマ	研究・実装 3テーマ (累計)	研究・実装 3テーマ (累計)
量販店や市場からの需要に合った有利販売につながる品目を探索することで、新たな産地を確立し、生産者所得の増大に貢献します。	—	1品目	1品目 (累計2品目)	1品目 (累計3品目)
農閑期での修理点検サービスを充実させることで、農繁期での故障を未然に防止しスムーズな農作業を支援します。	1,790台	1,900台	2,000台	2,100台
利用しやすい融資商品を充実させるとともに、規模拡大などのために資金を必要としている生産者へ提案を行うことで、農業経営の拡大などを後押しします。	18億円 (サンライズ 293百万円)	20億円	20億円	20億円
JAの役員や幹部職員などが意見交換や意思疎通をはかることで、生産者が求めていることを把握しJA事業の充実をはかります。	年2回(1,609名) 26会場・177名	年2回 21会場・ 210名	年2回 21会場・ 210名	年2回 21会場・ 210名

地域活性化アクションプログラム **地域の元気を実感するため**

	具体的な施策	業績評価指標 (KPI)
協同組合ならではの地域社会における役割を発揮します。	1.支店協同活動の継続・強化による地域コミュニティの活性化	①支店協同活動実施回数 ②支店運営委員会で活動の報告・提案
	2.女性部・フレッシュミズ部会の諸活動との連携による地域の活性化	女性部活動に役職員が連携した活動数
	3.青壮年部との連携による農業振興を通じた地域の活性化	新規盟友数
	4.JA香川県ポイントサービスの充実による直売所利用者の拡大	直売所利用者数
	5.Webメディアの活用による「食」と「農」の情報発信	ホームページ・SNSによる情報発信回数
	6.子ども食堂実施団体への支援による地域の活性化	支援団体数
協同組合間連携等の強化に取り組めます。	7.他の協同組合との連携による地域の活性化	コープかがわとの共同店舗数
	8.行政等との連携による独居高齢者とその家族が安心して暮らせる地域づくり	見守りネットワーク未締結先との協定締結および活動協力
	9.商工会等との連携による地域の活性化	商工会等と連携した活動回数
	10.香川大学との連携による組合員の意思反映・運営参画のあり方についての共同研究	准組合員の意思反映の仕組みの構築
組織基盤の強化に取り組めます。	11.組合員との対話活動を活かした事業運営	広報誌(きらり)・エリア通信での結果報告
	12.准組合員との関係強化	准組合員との交流会開催回数
	13.組合員学習会の開催	学習会開催回数
	14.新たな組合員組織の創設	広報活動モニター制度の仕組みの構築

成果目標

地域の
活性化

地域との絆がもっともっと
強くなり**活動の活性化**に
貢献していきます。



に

概要	H30年度 実績	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値
支店を核とした地域とのつながりを強化する 支店協同活動に継続して取り組みます。	①1,497回 ②－	①113店舗×3回 ②支店×2回	①113店舗×3回 ②支店×2回	①113店舗×3回 ②支店×2回
役職員が積極的に女性部仲間づくり運動などを支援し、 女性部と共に地域の活性化に取り組みます。	26回	26地域女性部 ×2回	26地域女性部 ×2回	26地域女性部 ×2回
盟友数の拡大と組織力の強化に向けた取り組みを支援する とともに、青壮年部による食農教育活動や、地域イベントへの 参加により、地域を活性化し、農業振興に貢献します。	7名	5名	5名	5名
当組合の農産物直売所で使用できるJA香川県ポイント サービスを活用したキャンペーンなどの展開により、地産 地消による「かがわ産」農畜産物の消費拡大をはかります。	3,867,070名	3,904,000名	3,909,000名	3,954,000名
ホームページやSNSを活用し、組合員をはじめ幅広い 年代に向けてJA香川県が取り組む「食」と「農」に 関する情報を発信します。	－	月2回以上	月2回以上	月2回以上
香川県社会福祉協議会が企画する「かがわ子ども食堂ネット ワーク」と連携した、こども食堂実施団体への支援を通じて、 栄養ある食事や温かな団らんの提供に貢献します。	－	仕組検討	1団体	3団体

包括連携協定に基づくコープかがわとの共同店舗の 運営により、地域におけるにぎわいの拠点を創出します。	－	1店舗 (累計)	2店舗 (累計)	3店舗 (累計)
行政などと高齢者見守りネットワークの締結をすすめ、 一日訪問や渉外活動を通じて地域の見守り活動を 実践します。	観音寺市、まんのう町と見守り協定締結 (2017年度:三豊市、坂出市、高松市、 東かがわ市、三木町、丸亀市、宇多津町と 見守り協定締結)	未締結市町 (8市町)と 見守り協定を 順次締結	未締結市町 (8市町)と 見守り協定を 順次締結	未締結市町 (8市町)と 見守り協定を 順次締結
行政や商工会、NPOなどと連携した活動により、 地域のにぎわいを創出します。	33回	38回	39回	40回
准組合員を農業振興のパートナーと位置付け、 意思反映のあり方を研究します。	－	検討	成案	実践

月に1度の一日訪問(職員による組合員宅への訪問)に おける組合員との対話で得た意見を組合運営に 反映します。	－	2回	2回	2回
准組合員との交流会を開催し、地域農業への理解促進や 農業振興のパートナーとしての意識醸成に取り組むと ともに、准組合員の意見を組合運営に反映します。	18統括店	18統括店 各1回	18統括店 各1回	18統括店 各1回
組合員学習会を開催し、組合員が必要な知識の修得に 取り組むとともに、当組合への理解促進をはかります。	総代研修会にて 総代に研修を実施	総代研修会: 1回	総代研修会: 1回 学習会: 各地区1回	総代研修会: 1回 学習会: 各地区1回
当組合のさまざまな取り組みを発信する広報活動について 評価いただくとともに、組合員のニーズを把握し、今後の 事業展開につなげるために広報活動モニターを創設します。	－	仕組検討・ 成案	実践	実践

重点プログラムの紹介

目標達成の確かな道農業振興アクションプログラム
重点施策例を紹介します。

農業振興アクションプログラム

成果目標200万円超の生産者数（うち800万円超の生産者数）、
野菜主要10品目の作付面積を達成するために、
様々な施策に取り組んでいきます。

●**丹精こめた農畜産物を高く売るために、
販売力を強化します。**

主要野菜10品目の平均単価向上による所得増大

主要野菜10品目は香川県でも特に取扱量の多い野菜です。
青ねぎ、アスパラガス、ブロッコリー、レタス、ナバナ、キュウリ、
ミニトマト、タマネギ、ニンニク、イチゴ以上10品目の**主要中
央卸売市場の平均単価より、5%以上高い販売単
価になるよう**に取り組めます。**契約的取引やブランド
化により生産者所得の増大**に取り組めます。



●**安く資材を提供して、生産・出荷コストを
引き下げます。**

市況に負けない農薬価格の設定による生産コストの低減

JA以外でも県内に流通している農薬のうち、JAの取扱量が多
い上位50品目については、価格交渉の強化により**同業他社
の店頭価格よりも安い価格を設定する**ことで、**生産コ
ストの低減に貢献**します。



より販売力を強化し、
「食」と「農」の豊かな暮らし
を目指します。



・地域活性化アクションプログラムの

農業振興アクションプログラム

●面積を増やしたい、今の面積を維持できない。 そんな生産者を応援します。

フィールド支援の拡充、荷造り調整支援による作付面積の維持拡大

時間も手間もかかる**フィールド作業、荷造り調整の支援を行うことで、生産者の負担を軽減**し、その時間を栽培管理などの他の作業に従事できるように支援していきます。今後は、**フィールド作業の支援メニューや支援面積を増やしたり、荷造り調整の支援量を増やして**生産者の作業負担軽減に貢献します。



●生産者の多様なニーズに応えます。

営農指導機能の強化による収量増加・品質向上

生産者からの要望が高い営農指導機能の強化を図るため、**香川県JA職員資格認証試験に基づく専門性の高い指導員を養成**し、巡回回数も増やすことで細かな巡回を行い栽培に関する悩みや相談に添えていきます。



重点プログラムの紹介

目標達成の確かな道

地域活性化アクションプログラム

協同組合ならではの地域社会における役割を発揮するとともに、**協同組合間連携等の強化**に取り組みます。

●農産物直売所を起点とした地産地消の拡大、生産者の所得増大。

当組合の農産物直売所で貯めて使える「**JA香川県ポイントサービス**」の充実などにより、香川県の「食」と「農」の応援団となる農産物直売所の利用者（消費者）の拡大に取り組み、農産物直売所を起点とした、**地産地消の拡大、生産者の所得増大に貢献**します。



●Webメディアの活用による「食」と「農」の情報発信

ホームページやSNSを活用し、組合員をはじめ幅広い年代に向けて**JA香川県が取り組む「食」と「農」に関する情報を発信**します。



●協同組合による地域の活性化

コープかがわ等の協同組合と連携して、地域コミュニティの維持発展と健康で豊かなくらしづくりの拠り所となる店舗づくりや新たなサービスの提供等に取り組み、**生産者と消費者の結びつきによる地域の活性化に貢献**します。



●新たな組合員組織の創設

当組合のさまざまな取り組みを発信する広報活動について評価いただくとともに、**組合員のニーズを把握し、今後の事業展開につなげるために広報活動モニターを創設**します。

重点助成事業の紹介

役立つJAを実感

農業の人財を守る

施設園芸拡大・高度化事業 (予算額:3年間 140,000千円)

天候等に左右されにくい園芸施設への参入や拡大を後追しすることで、**農業所得の安定**を促し、また施設の高度化を図ることで**労力の軽減、品質向上**に貢献します。



対象者

- ①園芸施設(園芸品育苗施設含む)を新設して取り組む生産者
・パイプハウス、APハウス、SRHハウス等
- ②以下の設備を追加(新設)することで既存施設を高度化する生産者
・加温施設・炭酸ガス発生機・養液栽培システム(点滴灌水設備含む)
・省エネ対策施設(内張施設、循環扇、4段サーモ等)
・省力栽培施設(高設施設、隔離施設等)

対象期間

平成31年4月1日～令和4年2月28日

助成金額

- ①行政助成事業等採択者に対しては**税込事業費の10%以内**(行政補助金+JA助成金=50%以内)
- ②行政助成事業採択者以外に対しては**税込必要経費の30%以内**(9百万円以内/10a)

農業の人財を守る

労働力確保支援事業 (予算額:3年間 20,000千円)

労働者を雇用して**規模拡大に取り組む生産者を支援**します。
JA香川県無料職業紹介所「アグリワーク」を通じて労働者を雇用する生産者を対象に、人件費の30%(上限30万円)を支援します。

対象者

JA香川県無料職業紹介所「アグリワーク」を通じて労働者を雇用する生産者

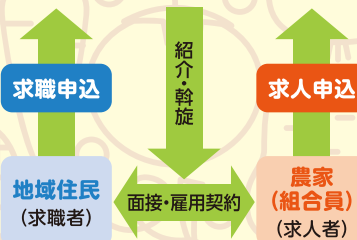
対象期間

平成31年4月1日～令和4年2月28日

助成金額

人件費の**30%**(上限30万円)

JA香川県無料職業紹介所「アグリワーク」



重点助成事業の紹介

役立つJAを実感

意見交換会などでいただいた意見・要望を活用した事業内容についても見直しを行い、
※予算額を超えて申し込みがあった場合は、早期終了や助成率を下げての実施が

農業の人財を守る

フィールド支援利用推進事業(予算額3年間 20,000千円) 荷造り調整支援推進事業(予算額3年間 70,000千円)

時間も手間もかかるフィールド作業、荷造り調整の支援を行うことで、生産者の負担を軽減し、その時間を栽培管理などの他の作業に従事できるように支援していきます。今後は、**フィールド作業の支援メニューや支援面積を増やしたり、荷造り調整の支援量を増やして生産者の作業負担軽減に貢献**します。

フィールド支援利用推進事業

- 対象者** 園芸品目のフィールド支援を利用した生産者
※農産品目のフィールド支援は対象外
- 対象期間** 平成31年4月1日～令和4年2月28日
- 助成金額** 10aあたり**2,000円**
※助成金額が1,000円未満の場合は支給しない。(支援利用合計金額)
※地区営農振興対策事業との重複受給できない。

荷造り調整支援推進事業

- 対象者** 当JAの集荷場で荷造り調整支援を委託する生産者
- 対象期間** 平成31年4月1日～令和4年2月28日
- 助成金額** 詳細は各営農センターまでお問い合わせください。



農業の人財を守る

肥料満車直行便に対する上乗せ助成(予算額:3年間 17,000千円)

肥料メーカーの工場から直接、生産者のみなさまの元へ10t満車(600袋)でお届けする肥料満車直行奨励は通常でしたら1袋あたり100円引きですが、今回の助成措置で**1袋あたり100円追加して合計1袋あたり200円の値引**となります。



- 対象者** 対象期間内に肥料満車直行便を利用した生産者
- 対象期間** 平成31年4月1日～令和4年3月31日
- 助成金額** 助成金額1袋あたり**100円(税抜)**
※当用単価が1,000円(税抜)以下の商品の上乗せ助成は行わない。ただし、従来の肥料満車直行便値引き100円(税抜)は行う。
※対象商品については、最寄りのふれあいセンターまでお問い合わせください。

みなさまを支えることで
農業の明日に役立つJAを
目指します。



踏まえて、「農業振興・地域活性化積立金」を
新たな助成事業を実施します。予算規模は総額5億円です。
あることをご了承ください。

農業の人財を守る

オリーブ牛優良素牛導入促進事業(予算額:3年間 24,000千円)

近年、評価が高まっているオリーブ牛の枝肉重量増加に向け、**発育の良い素牛を導入して、一頭当たりの販売単価を増加**させることにより、農家所得の向上に貢献します。

対象者

- オリーブ牛生産のためであること
- 発育状態の良い肥育素牛であること
- 本組合の購買素牛であること
- 月齢6か月以上12ヶ月未満であること

対象期間

平成31年4月1日～令和4年2月28日

助成金額

- ①香川県家畜市場で導入された香川県産素牛
(ただし、県の補助事業で対象外になった牛のみ)
20,000円／頭
- ②県外から導入された素牛
(DG去勢 1.1以上、雌1.0以上)
10,000円／頭



重点助成事業の紹介
役立つJAを実感

農業の人財を守る

就農奨学金制度(予算額:3年間 10,200千円)

香川県内の農業従事者の高齢化が進んでいる中、農業者の維持・増加を実現するには新規就農者および経営継承者を増加させる必要があります。そこで、**就農に向けて必要な技術や知識を習得できる教育機関で就学し、香川県での新規就農を希望する方を対象**として奨学金を給付します。

対象者

「JA香川県就農奨学金要領」に基づき受給申請手続きを行った者のうち
奨学金受給者として選考された者

対象期間

平成31年4月1日～令和4年3月31日

助成金額

1人あたり年間**600,000円**

その他の助成事業、並びに詳細については、
支店に配置している助成事業ガイドブックをご覧ください。



主な問い合わせ先

本店営農経済部門	改革推進課	TEL.087-818-4115	営農企画課	TEL.087-818-4140
	担い手サポートセンター	TEL.087-818-4188	農産販売課	TEL.087-818-4109
	園芸課	TEL.087-818-4122	販売促進課	TEL.087-818-4147
	畜産課	TEL.087-818-4139	酪農振興センター	TEL.087-879-8135
	東讃畜産振興センター	TEL.087-891-7351	西讃畜産振興センター	TEL.0875-82-9006
	生産資材課	TEL.087-818-4162	農機事業所	TEL.087-818-4164
地区営農センター	■大川地区営農センター	TEL.0879-26-0846		
	ふれあいセンター東讃店	TEL.0879-23-1377	ふれあいセンター大内店	TEL.0879-24-3670
	ふれあいセンター四国大川店	TEL.0879-53-2228	ふれあいセンター鴨部店	TEL.087-895-1771
	■中央地区営農センター	TEL.087-847-3913		
	ふれあいセンター三木店	TEL.087-891-1043	ふれあいセンター香川店	TEL.087-879-3219
	ふれあいセンター林店	TEL.087-865-5532	ふれあいセンター十河店	TEL.087-848-0047
	ふれあいセンター高松市中央店	TEL.087-815-5271	高松市太田事業所	TEL.087-865-3332
	ふれあいセンター牟礼店	TEL.087-845-5484	ふれあいセンター岡本店	TEL.087-815-7727
	ふれあいセンター弦打店	TEL.087-832-8100	ふれあいセンター国分寺店	TEL.087-874-1215
	■小豆地区営農センター	TEL.0879-61-1716		
	ふれあいセンターうちのみ店	TEL.0879-82-1168	ふれあいセンター池田店	TEL.0879-75-0410
	ふれあいセンター土庄店	TEL.0879-62-1710		
	■綾坂地区営農センター	TEL.087-876-9679		
	ふれあいセンター綾南店	TEL.087-870-8123	ふれあいセンター松山店	TEL.0877-47-0313
	ふれあいセンター坂出店	TEL.0877-48-2911	ふれあいセンター川津町店	TEL.0877-46-1789
	■仲多度地区営農センター	TEL.0877-64-0620		
	ふれあいセンター飯南店	TEL.0877-98-3278	ふれあいセンター綾歌店	TEL.0877-86-1003
	ふれあいセンター協栄店	TEL.0877-75-3193	ふれあいセンター丸亀店	TEL.0877-22-0512
	ふれあいセンター丸亀北店	TEL.0877-25-2555	ふれあいセンター琴平店	TEL.0877-73-2958
	ふれあいセンター善通寺店	TEL.0877-64-0649	ふれあいセンター多度津店	TEL.0877-33-1391
	■三豊地区営農センター	TEL.0875-25-0051		
	ふれあいセンター山本店	TEL.0875-63-3103	ふれあいセンター財田店	TEL.0875-67-0038
	ふれあいセンター豊中店	TEL.0875-62-5493	ふれあいセンター高瀬店	TEL.0875-72-6225
	ふれあいセンター詫間町店	TEL.0875-83-2313	ふれあいセンター観音寺店	TEL.0875-23-4741
	■豊南地区営農センター	TEL.0875-54-3124		
	ふれあいセンター豊南店	TEL.0875-54-4542		
統括店融資課	誉水統括店	TEL.0879-26-0868	志度統括店	TEL.087-894-7007
	三木町統括店	TEL.087-891-1024	川東統括店	TEL.087-879-3228
	高松南部十河統括店	TEL.087-848-0064	高松市中央一宮統括店	TEL.087-885-1189
	高松市太田統括店	TEL.087-865-3779	高松市西部鬼無統括店	TEL.087-881-4153
	土庄統括店	TEL.0879-61-1207	林田統括店	TEL.0877-47-0787
	法勲寺統括店	TEL.0877-98-3263	協栄統括店	TEL.0877-75-3247
	丸亀統括店	TEL.0877-22-8202	善通寺統括店	TEL.0877-64-0626
	高瀬統括店	TEL.0875-72-6204	豊中統括店	TEL.0875-62-3181
	常磐統括店	TEL.0875-25-4790	大野原統括店	TEL.0875-54-2076

※畜産関係に関することは、酪農振興センターまたは各畜産振興センターへお問い合わせください。